

## 会 議 要 旨

会 議 名 ( 審 議 会 等 )	令和5年度 第3回南あわじ市文化財保護審議会	
事 務 局 ( 担 当 課 )	南あわじ市教育委員会 社会教育課	
開 催 日 時	令和5年7月26日(水) 14時00分～16時00分	
開 催 場 所	学ぶ楽しさ支援センター	
出席者	委 員	堀部るみ子、正井良徳、小野昌一、岡崎正信、前田拓也、 関口功、木田徹、吉田文洋
	事 務 局	山家光泰(社会教育課長) 竹内まりの(社会教育課主事)
	そ の 他	無
会 議 次 第	1, あいさつ 2, 報告事項 3, 議 事 (1) 令和5年度の年間スケジュール等について (2) 「護国寺文書」について (3) その他 4, 閉 会	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

## 第3回南あわじ市文化財保護審議会 議事要旨

### ○ 議 事

#### (1) 令和5年度の年間スケジュール等について

- ・ 次回の審議会の開催について、8月頃を予定しており、この度出土した門崎砲台の跡地を埋蔵文化財調査事務所の担当職員とともに見学に行っていたと考えている。一般公開の前に詳しい説明を聞いていただき、お知りいただければと思う。
- ・ 9月は、古文書の保管室としてのスペースを確保してもらうための要望書案の加筆修正を行ってもらうよう考えている。
- ・ 10月は、洲本市の淡路文化史料館や淡路市の北淡民俗資料館の見学を予定している。

#### (2) 「護国寺文書」について

- ・ 南あわじ市、ひいては淡路島内には中世の文書が保管されている例が少ない。その中でも一番古いと言われているのが護国寺文書である。現在、護国寺文書は60点あり、どのような形で保管するのがよいか、また一般に向けて公開できるものなのか、所有者から文化財保護審議会に研究をお願いしたいと申し出があった。
- ・ 人形浄瑠璃の起源について、証拠が提示されている貴重な資料である。口伝えではよく聞く話であるが、それが文書として残っているのが重要なポイントになる。
- ・ 淡路に存在した神々に奉納するための人たち、その活動が確認できる文書が11点。これらのまとまった資料からは傀儡師を含む淡路の人形などの、具体的な体系を確認できる証拠である。南あわじ市にとっては特に人形に関する部分が重要であると考えられる。
- ・ この資料が一旦紛失したら二度と見る事が出来なくなる。それを防ぐためまず市の指定文化財として適切な管理をしていくのが望ましい。保管場所については引き続き護国寺で保管していく方法もある。
- ・ 護国寺で一度実物を見学させていただく機会を作り、10、11月頃に審議できればと考える。

#### (3) その他

##### ・ 門崎砲台跡地について

- ・ 8月10日に報道発表を行い、8月18日、19日に現地説明会を行う。その前に、文化財保護審議会委員には見学してもらう機会を設けたいと考えている。見学の際には、埋蔵文化財調査事務所の担当から説明を行う予定。
- ・ 三原郡史掲載の写真等を見てわかるように、砲台のドームが2つ並んでいる。向かって右側が既に見えなくなっており、左側についても残っているが綺麗な状態ではない。8月末までに調査・記録保存を行い復元できるような状態にしておく。
- ・ 調査段階だが、現状では保存が非常に難しく大変危険である。そのため現段階では、取り壊しも視野に入れ、今後の保存方法や活用について検討する予定としている。